

委員会だより

< 12月7日(日) 12名出席 >

- 11月度会計報告
 - 一般会計：本部分担金3回目(¥120,000)を支払い。
 - 建設会計：信徒会計(バザー収入)より200,000入金。借入金返済130万円を12月8日に払込み予定。これで全額返済終了(平成9年3月に1500万円借り入れ、H19年までの返済計画であったが、H15年に完済出来たことになる)。
 - 信徒会計：建設会計への振替(上記)に加えて婦人同志会へ20,000、社会福祉協議会へ30,000支出
- 2004年度予算案の検討
 - 建設会計を来年度以降どうすればよいかについての話し合い。具体策の決定は信徒総会で。
 - 教区に対してH16年度の予算書を提出(甲斐さん) ⇒ 収入に「祭儀献金」の項目新設。(従来は特別献金にて処理)
 - 神父様の給与は2004年度より教区が支払う形となるので、当教会の従来「司祭給与」は予算上ゼロになる。尚、当教会の負担金の確定値は、2月に教区より示される。
- 2004年度信徒総会開催日程
 - 1月25日(日)開催に決定。
- 任期満了に伴う教会委員会委員の改選の件
 - 教会委員選出委員・下村毅氏より公募に関する資料配布、説明あり。12月14日のミサ終了後、教会委員公募に関する説明をする。
 - 下村氏が神父様と詰めた「中和田カトリック教会運営委員会委員業務(案)」の配布説明。
- 一粒会報告
 - 11月単月送金：10,300円 累計：301,500円
- 玄関スロープの滑り止めの件
 - 壮年会中心で、タイルに滑り止めを貼ることにした。(3万円程度で済ませる)
- 成人式：該当者なし
- 元旦ミサ：午前10時より
- 第5地区福音宣教委員会 平成16、17年の2年間戸塚教会・中和田教会が当番教会となる。
- 2月8日は高野助祭の最後のミサ 叙階の段取り等は未定。(叙階は多分3月) 中和田教会としてのお祝いの段取りについては別途。(目下ご希望を伺っている…小山)

壮年会だより

< 12月21日(日) 15名出席 >

- 12/7教会委員会報告 (詳細は広報なかわだ)
- 1・2月聖書朗読(第一)・共同祈願・奉納者の決定
- 審議事項
 - (1) 壮年会関係
 - 平成16年度行事予定および聖書朗読者・サロン担当者11・12月の2例会で検討し「教会の仕事を壮年会全員の輪番制」で行う。会員各位に「壮年会たより」(第2号)を発行し周知(郵送)。尚16年壮年会総会(1月18日)最終決定。
 - 庭掃除道具購入について
 - 「電動草刈機」・「三つ又脚立」の新規購入について、10月より検討を重ね、「電動草刈機」は清水さんに寄付をお願いし、「三つ又脚立」は更に検討を加える。
 - (2) 平成16年度一粒会役員選出について
 - 壮年会として竹内さんに留任して頂くことになりました。
 - 報告・連絡事項
 - (1) 前庭の垣根土留め工事完了「ありがとうございました」
 - 前庭民家側植木土盛の土留改修工事が(三回に分けた内の1回目)、武田さんご一家と古田さん・福島さん・高野助

- 祭・美底さんの手で12月7日に完了しました。
- (2) 聖堂玄関前スロープの滑り止め工事について
 - 手摺延長工事—今の高さより20cm低くし12月16日完了
 - 滑り止めテープ工事—スロープに滑り止めテープを、壮年会の手で貼付する。工事予定日は1月とし、詳細は別途決定する。
- (3) 降誕祭前の大掃除結果：12月20日(土) 7名参加
- (4) 降誕祭パーティー
 - ケーキ50個・飲み物はビールを2ケース壮年会負担
- (5) 慶弔祝い金報告
 - 美底昭司さん 「出産祝い」、森田敏昭さん(子女)「結婚祝い」、宮崎佐喜男さん 「お見舞い」をお送りました。
5. 自由発言
 - (1) 泉区民クリスマス—奉仕をお願いします。(総括：竹内氏)
 - (2) 聖堂靴脱ぎ場の段差・滑止め改善—壮年会有志が改善策を検討して頂ける。
 - (3) 隣設駐車場フェンス壊れ—地主にお伺いし、必要により委員会に上申する。
6. 次回1月18日は、例会終了後、新年会を行う。

婦人会だより

< 12月21日(日) 30名出席 >

- 委員会報告
 - 第5地区福音宣教委員について
 - これまで標記委員は壮年会、婦人会から各一名が出ていましたが、来年度からシステムが変更になりますので、現在の委員さんは一旦解散となります。
 - 平成16年度の婦人会役員がきまりました
 - 会長：鈴木 矩子 (C地区)
 - 副会長：松下ツヤ子 (D地区)
 - 書記：花坂 昌子 (B地区)
 - 会計：永島 安子 (B地区)
 - 以上のみなさんです。よろしくお願いいたします。
 - お知らせ
 - 平成16年度婦人会総会・新年会は1月18日(日)ミサ後
 - 山崎神父様へクリスマス・プレゼントをさしあげます。
 - 今年度特別会計からの寄付は、次の5団体へさしあげることになりました。ペシャワール会、心のともしび、フマニタス、旅路の郷(釜が崎)、横浜いのちの電話
 - 横浜教区婦人同志会新年会のご案内
1月28日(水)11時45分～受付
会費：3500円 会場：横浜プリンスホテル
申し込みは阿部映子さんへ
 - 平成16年度のお掃除当番表と新年会申込みへのご記入をお願いします。
- 【次回総会・新年会 1月18日(日) 当番はC地区】

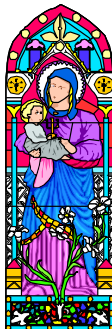
お知らせ

転入：ようこそ！

三觜 和江さま
良太くん(5歳)
栃木県・大田原教会より
住所：泉区中田東1-38-17
電話：801-1397

信徒総会

1月25日(日) ミサ後開催

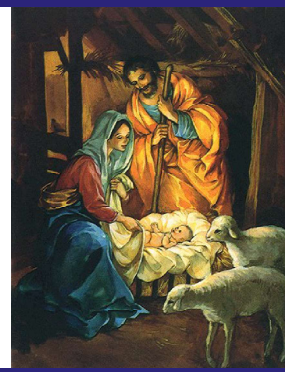


広報 なかわだ

第297号

1月の予定

委員会	1月 11日
壮年会、婦人会	1月 18日 (総会、新年会)
信徒総会	1月 25日 (ミサ後)
レジオ	1月 9, 16, 23日



2004年 1月号

中和田カトリック教会
広報委員会発行
泉区中田北1丁目9-1
Tel. (045) 803-6141
平成16年1月4日



あけましておめでとうございます

主任司祭 ジャック グルニエ



今年、初めて皆様とともに一月から十二月までの間中和田教会での生活を味わえるようになりました。

わたしは皆様が今まで活かしてきた多くの活動や、また今後たぶん初めて発足する動きを『いのちの息吹を受けてすべてが新しくなる』と歌いながら進めて行きたいと思います。

そして皆さん、中田北一丁目9-1の敷地で集うときも、またそれぞれの地域や職場で行動するときも、みんなの人生を开花させるように呼びかけられていると自覚して、互いに祝福でおおように努めましょう。

今年こそ、わたしたちのうちに多くの 良い知らせが心を広くしてくれるのを期待しています。

神にも、またみなにも感謝！



クリスマス会でのハーモニカ演奏
(中和田ホームページより掲載)

ミサ当番表 (2004年1、2月)

月/日	主 日	朗読 奉納	共同祈願	侍 者	オルガン	月/日	主 日	朗読 奉納	共同祈願	侍 者	オルガン
1/4	主の公現	下村・丸田	下村	石井大	保 科	2/1	年間第四主日	石井三・永田	石井三	美底か、石井麻	岩 淵
1/11	主の洗礼	青年会	青年会	石井拓	岩 淵	2/8	年間第五主日	青年会	青年会	永田下迫佳	森 田
1/18	年間第二主日	山本・松田	小野和	石 崎	森 田	2/15	年間第六主日	石井彰・町田	小山	石 井大	保 科
1/25	年間第三主日	山田・小野和	山 田	下迫瑤	保 科	2/22	年間第七主日	石井伸・山本	石井伸	石 井拓	岩 淵
						2/29	四旬節第一主日	井上・楠田	石井悠	石 崎	森 田

当番の方は10分前には集合して下さい。ご都合の悪い方は
典礼委員(萩原氏：Tel 802-6258)迄お申し出下さい。



日本カトリック教会の動き = 2002年・2003年 =

【2002年】

2/7 高見三明師、長崎大司教区補佐司教に(司教叙階 4月29日)

2/18～22 司教協議会臨時総会開催
「第10回シンドス(世界代表司教会議)」の報告、『カトリック教会のカテキズム』の出版に関する審議など。

6/17～21 司教協議会定例総会開催
教会歴に新たに加えられた記念日の承諾や「子どもへの性的虐待に関する司教メッセージ」の発表など。

6/21 2001年度「カトリック教会現勢」発表(カトリック中央協議会広報部)。信者総数 447,944 人。前年比 2,704 人増。

7/9 信徒使徒職団体「聖ヨアキム・アンナ高齢者の会」が教皇庁より認可。信徒が自発的に始めた使徒職団体の教皇庁認可は日本初。

7/31 「カトリック教会のカテキズム」日本語訳発行。

8/6～15 日本カトリック平和旬間 20 周年を迎える。

8/31 島本要長崎教区大司教帰天。

9/5 日本のカトリック初である原語からの訳出『フランシスコ会聖書研究所訳注聖書』37 分冊最終巻『エレミヤ書』発行。これにより、46 年をかけたカトリック訳聖書が完成。

9/29～10/3 教皇庁諸宗教対話評議会主催「第3回仏教・キリスト教対話研究集会」開催(東京)。カトリックから10 人、仏教から15 人の研究者が集う。メインテーマは「仏教における僧伽(サンガ)とキリスト教における共同体」。

10/3 常任司教協議会は、復活節第2 主日の名称を次年度から「復活節第2 主日(神のいつくしみの主日)」とすることを決定。

10/15 難民移住移動者委員会、「日本における『船員司牧』の手引」発行。

10/15～17 教皇庁文化評議会アジア地域研修会開催(長崎)。テーマは「アジアの諸文化にキリストを告知する＝約束と成就」。同評議会議長ポール・プパール枢機卿をはじめ、インドのイバン・ディ阿斯枢機卿らが参加。

11/12 佐藤千敬司教(前仙台教区司教)帰天。

【2003年】

2/17～21 司教協議会臨時総会開催。
「第4 回家庭についての国際会議」の報告を含む三つの報告、故島本大司教の司教協議会役職後任人事に関する件の審議など。

2/18 日本司教団、新要理書『カトリック教会の教え』発刊に際しての声明発表。

2/21 日本司教団、イラク問題の平和的解決についての声明発表。

4/1 浦和教区、教区名を「さいたま教区」に変更。

4/8 新要理書『カトリック教会の教え』発行。

6/16 2002年度「カトリック教会現勢」発表(カトリック中央協議会司教協議会秘書室広報)。信徒数前年比 2,107 人増加。信徒総数は 449,927 人。成人洗礼数は 56 年ぶりに 4 千人台を割る。

6/16～19 司教協議会定例総会開催。
『フランシスコ会聖書研究所訳注聖書』の合本編集作業への典礼委員会の参加、新『ローマ・ミサ典礼書の総則』暫定版の発行、「ニケア・コンスタンチノーブル信条」口語訳特別委員会設置等の承認など。

俳句誌『東桜』

2003年10月号より

(東桜は小谷氏の銀行時代のお仲間の同好会です。NHK俳句講座講師の山田諒子先生に御指導頂いているそうです。)



巻頭言

：：十月の例会は十七日(金)に開催された。：：その中で最高齢の小谷徳爾氏が久しぶりに元気なお顔を見せて下さったのは、何よりも嬉しかった。兼題は「秋の暮」と「とろろ汁」による五句投句で行われた。

当日の自選句は次の通り。

秋の暮真つ赤な富士に心晴れ 小谷徳爾

秋の暮天なる父へ十字切り 〃

敬老日聖歌に始む朝の彌撒 〃

他(略)

入選句 秋の暮真つ赤な富士に心晴れ 小谷徳爾

他15句(略)

互選結果 高点句

へ五点句

秋の暮天なる父へ十字切り 小谷徳爾

他2句(略)

初夢

「いつの日か・・・ チルドレンハーモニカ アンサンブル創設・・・ その物語」

小谷 徳爾



2001年12月22日(土)第1回「泉区民クリスマス」永見富久好先生の御創案で大成功を収めたこと、昨日のことのように甦ります。愈々第3回になります。2003年12月23日 泉公会堂。

ピアノは調律が大事です。ハーモニカにもあるのです。良い音色を出すために。それには楽器店の協力がなければ駄目です。私は幸いにも横浜伊勢佐木町の老舗有限会社近藤楽器さん、先代から今の二代目社長寛(ひろし)さん、それはそれは良くして下さるのです。ハーモニカ一本でも伊勢佐木町のお店からバイクに乗られ気持ちよく気軽に来て、楽器談義をしてくれます。過年私が全日本ハーモニカクラシックグランプリ受賞の時は、「店の誇りです」と喜んでくれました。そしてその時、「小谷さん、これでハーモニカの夢終わりですか。」「いや、私はいつの日か可愛いお子達と。」

「子供さん達誰かまわらず好きなのです。我慢じゃないが、泣かれたこと・・・一度もないのです。だから、幼いお子達と想っただけうれしく・・・いつの日か一緒にハーモニカ吹きたい、チルドレンハーモニカアンサンブルをやりたい。」「是非おやりなさい。実現して下さい。楽器で大いに力になります、値段で。」「安くていい品探します。」

2003年の春もすぎた頃でした。連合聖歌隊当教会の委員、石井悠子奥様が「小谷さん、今度は子供と一緒にどうでしょう、ピアノ弾ける子もいます。」と伺ったとき、即、「ハイ」とお答えしました。帰宅、いつもの楽しみのオーケストラの楽譜を読むこと・・・石井悠子奥様のお言葉少なななかに2つの意味が・・・

の祖父母は偉大な存在でした。が近所の餓鬼大将(広辞苑)いたずらな子供達の町のかしらや、餓鬼共(手下)を集めて「数え唄」を教えてくれたことです。

「一番初めは一の宮、二(ニイ)は日光東照宮、三(サ)は佐倉の宗五郎、四(シイ)は信濃の善光寺、五(イ)ツは出雲の大社、六(ムツ)村の鎮守様、七(ナ)ツは浪子の不動尊、八(ヤツ)は八幡の八幡宮、九(コノツ)、高野のこうぼうさん、十(トウ)は東京浅草寺(なぜ浅草・・・?それは仲見世に連れていってもらっていっぱい駄菓子を買ってもらえるのです)・・・」

そうだ!! 教会の要理のお子達と一緒にハーモニカを吹こう、チルドレンハーモニカアンサンブル編成、カトリックの中和田教会、献堂初めてのプロデュースです。

1. 平成15年(2003年) 7月6日
教会報No.293号8月号、委員会だよりの記事、阿部副委員長様から「泉区民クリスマス、12月23日(火)祝日 泉公会堂、中和田教会は第一部の最後(後奏)に小谷さんと子供たちによるハーモニカ合奏参加」委員会から正式に発表していただいた。因みに「後奏」とは「音楽の祈り」。

2001年 ジャン・ブヴァール作曲
「来たれ、神の救い主」

2002年 ヘンデル作曲
「彼はその群れを養い給う」

2003年 佐久間彪(アヤ)作曲
「こどもとともに マリアさまのこころ」

2. 8月2日(土)～3日(日)
教会要理学校一泊おとまり会の行事、8月2日am 10:30からハーモニカ練習と典礼担当委員井上明男様から記事で発表していただく。壮年会福島清様が車で楽器類を教会へ運んで下さる。

近藤楽器さんのお陰でドイツホーナ社の単音10穴

入手出来、それぞれのお子達へプレゼント。楽しそうなるこびよう。ブーブーピーピー・・・チューイング、楽譜(五線譜)、音階、基本から。ありがたくもグルニエ主任司祭様、高野助祭様がおいで頂き、終わってグルニエ神父様から「教え方上手」とお言葉、私終生この喜び忘れないでしょう。

3. 譜面台到着。9月の練習。井上委員長様が教会迄車で運んで下さる。一粒会委員竹内廣治様に手伝って頂き、お子達がこの組み立て、竹内様の順序正しい組み立て説明、お子達の嬉しそうな顔、々々。竹内様が「これで演奏家らしくなります。」と誉めて頂きうれし。

4. 10月、音譜を見て基本練習。欠席のお子達がいてもいい。無理強いないのが音楽を好むマナーなのです。稽古練習は自分のためだから。

5. 11月30日(待降節第一主日)、グルニエ神父様のお許しを得て御御堂で初めて演奏曲目のリハーサル。石井大河さん指揮。素直な旋律。その中に「教会の鐘」ミュージックベルEとG。竹内様加わって私もハーモニカを吹く。「世界的オーケストラ名指揮者クレバーさんは曲の終わりこうするの」と・・・教え・・・すぐ石井大河さんがその通りに。井上様の助言も入り、お子達から6/8拍子と声がかかったり、うれしさ言うことなし。

6. 12月14日(待降節第三主日)
教会オルガニスト森田和実様にかねがねオルガン伴奏をおねがい、快く引き受けて頂いているので、グルニエ神父様のお許しを得て、御聖堂ハモンドオルガンを囲んでお子達と、これも頼んでいただいたパバ、グランパバの賛助出演もして頂いて「最終のリハーサル」。教会の鐘の音表現ミュージックベル竹内様賛助、トライアングル七浦様賛助、バスハーモニカ小谷。

7. 2003年12月23日 愈々本番のステージ
教会典礼委員井上様が「当日こども達集まってくれるだろうか、ステージで子供達・・・あがって・・・ハーモニカふけるだろうか」
全て神様にお任せ。

ステージ第一部後奏・・・終わりに近く静かに泉公会堂ステージ。緞帳が。幕がおりる。客席から大きな拍手、拍手、拍手。初夢でした。